

農地等利用最適化推進施策の改善に関する

意 見 書

平成 29 年 10 月 13 日

五泉市農業委員会

日ごろから、本市の農業・農村振興についてご尽力されていることに敬意を表しますとともに、農業関係組織の運営に関しましてご指導とご協力をいただいていることに深く感謝申し上げます。

さて、農業・農村を取り巻く状況は、長引く農産物価格の低迷や、担い手の減少・高齢化が進行するとともに、耕作放棄地が増加するなど、農業生産構造の脆弱さや地域活力の低下が顕在化してきています。

こうした中、国会は昨年12月にTPP協定を承認しましたが、アメリカの新大統領は、今年1月の就任直後にTPP交渉からの離脱を決めたことによりTPPの発効は先行き不透明となっています。

一方、政府・与党は、農業の成長産業化に向けて、昨年11月に収入保険制度の導入等を盛り込んだ「農業競争力強化プログラム」を取りまとめ、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に追加することにより、生産から加工・流通消費に至る構造改革を推進することとしています。また国による生産数量目標の配分廃止など米政策の見直しが平成30年度から実施され、需要に応じた米生産の推進が重要となっています。

このような状況の中、五泉市農業委員会は、農業者の公的代表として、「農地等の利用の最適化の推進」を目指し、公正・公平かつ適正に五泉市の農地を管理し、担い手への農地の集積・集約、耕作放棄地の発生防止と解消、農業への新規参入の促進を図ることにより、安全で安心な食料の安定供給を基本として、健全な農業経営を維持・継続できるよう、関係機関と連携して所管事務を進めています。

五泉市農業が振興して、農業が持続的に発展し、農業者がやりがいと誇りを持って取り組むために、現場の声が施策に反映されますよう、農業委員会等に関する法律第38条1項の規定に基づき意見を提出いたします。

平成29年10月13日

五泉市長 伊藤勝美 様

五泉市農業委員会
会長 古田常藏

農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見

1 国、県に対する意見（意見の上申を求めるもの）

(1) 国による米の生産数量配分廃止後の施策について

国による米の生産数量の配分が今年度で終了し、これと併せて生産調整達成した時の直接支払が無くなる。農業者は収入減少の懸念が強く、非常に不安である。米政策大転換による農業者の先行き不安を解消するため、早期に政策を示してほしい。

(2) 基盤整備の促進について

担い手への農地集積・集約を図るため、国・県・市・土地改良区などの関係機関が連携して、基盤整備を進めてほしい。

(3) 中小河川の適切な維持管理について

中小河川の堤防や河床に雑草や雑木が繁茂している。また、河床に土砂が堆積し、大雨のたびに越水して田畑に被害を及ぼしているところもある。除草、伐木、河床掘削を適切に行い、環境整備、災害防止に努めていただきたい。

(4) 五部一川の河川改修について

本年7月18日の豪雨により、能代川の堤防決壊が発生し、中野橋、笹野町地区の集落に避難指示が出され、今も危険な状態が続いている。その解消のため、五部一川を改修して分水して災害防止を図ってほしい。

(5) 多面的機能支払事業の継続について

経営面積の拡大や高齢化に伴う農業者の減少により、農道、用排水路の維持管理が難しくなっている。農業者以外も含めて集落ぐるみの共同活動により、地域の農道、用排水路等の維持管理を行う多面的機能支払事業の継続をお願いしたい。

(6) 米の消費拡大の施策について

消費者の米離れが進んでいる。主食である米の消費拡大は、日本農業再生の根幹である。かつての「米飯給食の普及」のような画期的な米の消費拡大策を打ち出してほしい。

2 五泉市農業施策に関する意見

(1) 国による米の生産数量配分廃止後の支援について

平成30年度から、国による米の生産調整が廃止され、米価の大幅な下落や、直接支払も廃止され収入減が懸念される。それらに対する支援策を早期に示してほしい。

(2) 農地の集約化に関する支援について

狭小な農地や、飛び地を解消し、作業の効率化を図るためにも、広域での農地集約を図る必要がある。それらに対する支援をお願いしたい。

(3) 遊休農地対策について

農業者の高齢化、後継者不足等により、また、米の生産調整の廃止により、遊休農地の増加が懸念される。農業委員会では、農地パトロールを行い遊休農地の減少に努めているが、さらなる対応のため、行政、関係機関の協力をお願いしたい。

(4) 農産物の PR 活動の充実と 6 次産業化の推進について

五泉市の農産物の販売の活性化と農家所得の向上に向け、関係機関と連携して農産物の県内外への PR 活動の充実と強化を図っていただきたい。また、特産物の開発や農産物を加工し付加価値を高め販売を行う 6 次産業化の取り組みなどを、産官学連携により推進してほしい。

(5) 地力パワーアップ推進事業の復活について

経営規模の大小にかかわらず、農業者誰でもが利用できる地力パワーアップ事業を復活して、五泉市農業の底上げを図っていただきたい。

(6) 獣害対策について

猿、猪等による被害が多発しているが、安心して農作業ができるように対策をお願いしたい。

3 その他の意見

(1) 農業水利施設の改修について

老朽化が進んでいる農業水利施設の早期の改修をお願いしたい。